

種名	<h2 style="margin: 0;">カワガラス</h2> <h3 style="margin: 0;"><u>Cinclus pallasii</u></h3>												
													
分類	スズメ目カワガラス科												
特徴	<p>渓流に潜って水棲昆虫を捕えるチョコレート色の鳥。アジア東部の主に温帯で繁殖し、日本でも北海道から九州までの全国の山地に留鳥として普通に棲息し、季節的移動は少ない。</p>												
生活	<p>年間を通して河川の上流部に生活し、流れの速い浅瀬に潜ってカワゲラ、カゲロウの幼虫などの水棲昆虫を主な餌にしている。水中では羽を半開きにして泳ぐようにしたり、水底を歩いて川底の昆虫を捕える。このような採餌習性は、日本ではカワガラスだけが行う独特のものである。川の流れて沿って一直線に飛ぶことが多く、滝の裏の岩の隙間などに巣を作る。</p>												
声	<p>早春の頃からさえずり始める。川の中や岸辺の岩や倒木の上にとまって「ピスピス、ジュッジュッ、ピリッ、ピス、ジュピチュリリ」などと細かな複雑なさえずりを始める。また、川の面を「ピッ、ピッ」と鳴きながら飛んでいくことも多い。</p>												
見分け方	尾が短い独特のスタイルと、全身こげ茶色の体色。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	全長(L) 22cm      翼開長(W) 32cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													